

人がつながる田園都市



議会だより

今回の題字は、^{うきだまや}浮田麻矢さん（八千代小学校6年生）です。



絆！なかまの思いをつなげて 高宮小学校 初の運動会(9月27日)

9月定例会	2～3	一問一答
決算審査	4～5	12人が 市政を問う …12～18
常任委員会報告	6～8	あんな こんな
		地域のかがやき ……………20



安芸高田市
市議会のページ

第67号 2020(令和2)年11月15日発行

副市長

米村 公 男 さん

(57歳)

10月12日着任

同意

9月定例会

9月定例会を9月10日～30日までの会期で開催しました。

一般会計を含む10会計の令和元年度決算は予算決算常任委員会へ付託し、本会議最終日において、すべて全員賛成で認定しました。(決算審査は4～5ページに掲載)

一般会計補正予算など15議案(うち議員発議3件)を、いずれも原案のとおり可決しました。(補正予算審査は6ページに掲載)

一般質問では、12人が市政を問いました。(12～18ページに掲載)

同意 (1件)

副市長の選任

米村 公 男 さん
吉田町常友



石丸市長を補佐して、出身である安芸高田市の発展のために、これまでの行政経験を活かして全力を尽くす所存です。

質疑

熊高 選任の経緯は。

市長 市と県との連携強化のため、知事に相談。人物に惹かれた。市出身で、このまちを盛り上げていく助っ人としてこれ以上ない。

熊高 改革を進める市長の考えとのすり合わせは。

市長 行政経験もあり、市政を進めていくため、頼もしく、頼りにしている。

熊高 2人体制については。

市長 市にとって必要と認められた2席。米村氏とも相談し、判断していく。

同意



本会議の議決風景

令和元年度決算

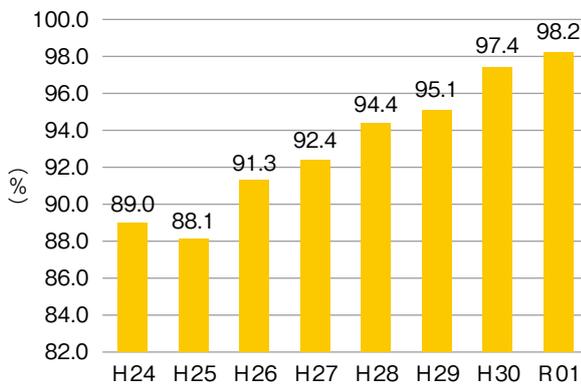
経常収支比率 98.2%

前年度比0.8ポイント悪化

(財政構造の弾力性を測定する比率であり、90%を超える場合、原因究明し経常経費の抑制に留意)

認定

経常収支比率の推移



■認定第1号〜第10号

■質疑

熊高 市長 総括的な市長の所感を問う。全体的に「火の車」と言える。経常収支比率が高く、財政が異様に硬直化し、裁量の余地が残されていない。これから先、一層の危機感を市民と共有し、財政健全化を進めていく。

■討論

なし

■採決

全員賛成

■議案第64号

○財産の取得について
(学校の1人1台パソコン)

■質疑

新田 パソコンの落下補償はあるのか。
福井教育次長 通常の落下事故は対象となる。

新田 クラス全員が一度に使って動作に問題はないのか。

福井教育次長 文科省が提示した一定の仕様があり、クラス全員で使っても動作に問題がないものを導入できている。

新田 不具合が発生した場合は、**福井教育次長** 1年間の保証もあり、メーカーの人員対応もある。

■討論

なし

■採決

全員賛成

■付託議案以外で可決された主な議案

■議案第54号

○安芸高田市手数料条例の一部を改正する条例

■議案第55号

○字の区域の変更

■諮問 (1件)

人権擁護委員の推薦

大下 典子 さん

甲田町上甲立

承認

■選挙

芸北広域環境施設組合議会議員の選挙

大下 正幸 議員

当选

■議員発議 (3件)

○安芸高田市議会委員会条例の一部を改正する条例

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について

○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について

すべて全員賛成

認定

歳出総額 221億7060万円

予算決算常任委員会

9月10日の本会議において審査を付託された令和元年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算を9月17・18日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 大下正幸
副委員長 武岡隆文
委員 議長・監査委員を除く
全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

Q 光ネットワーク管理運営事業について、美土里町青地域の無線エリアを解消されているが、他の地域の方向性は。

予算決算常任委員会委員長報告（抜粋）

令和元年度普通会計の決算規模は歳入歳出ともに前年度決算額を上回るものとなった。

財政指標については経常収支比率が前年度から0.8ポイント悪化しており、地方交付税の減額や、臨時財政対策債の発行可能額が縮小したことが影響したものと判断される。

財政規模は平成26年度、27年度と減少傾向で推移したが、平成28年度から令和元年度にかけて増加傾向となっている。これは学校規模適正化に伴う統合小学校整備などの普通建設事業、平成30年7月豪雨災害に伴う災害復旧事業、及び道の駅整備に伴う国道沿線活性化事業などの実施が要因となっている。

A 令和2年度は美土里町本郷の橋上地区について、有線化する予定である。来年度以降も引き続き無線エリアで支障のある部分は順次有線化を行いたい。



無線エリアである美土里町本郷亀谷地域の風景
(左端のコンクリート柱が無線中継局)

令和元年度

一般会計・特別会計

歳入総額 227億6119万円



ひろしまの森づくり事業で整備中の里山林（高宮町川根）

■産業振興部

Q 林業総務管理事業について、森林多面的事業をひろしまの森づくり事業で対応することについて内容を伺う。

A この事業は市が事業費の3分の1を負担している。ひろしまの森づくり事業の中に同様な事業

があり、森づくり県民税を活用すれば事業費が全額負担されるので、市の負担を軽減できると考える。

■教育委員会

Q 国際教育推進事業について、英検3級以上の生徒割合が年々増加しているが、成果の要因は。

A 要因としては、公費負担で一回受験できることと、小学校から英語活動が入っていること、また、ALTの契約を直接

指導できる形態に変えたことで、勉強以外のところで英検に向けて積極的なフォローされている実態がある。



ALTによる授業風景（八千代小学校）

2
年度
補正一般会計補正予算
4億1845万円増額

(予算総額 236億3550万3千円)

可
決

歳出 418,446千円		
(1) 通常		
摘要	金額(千円)	主なもの
①施設の修繕等	50,867	各市営住宅修繕等
②新規実施による補正	3,400	鉄道ネットワークを活かした魅力向上事業等
③事業量の増減による補正	111,170	マイナンバー関係負担金等
④人件費、繰り出し金等	△111,666	人事異動、特別会計繰り出し金、事業会計補助金等
小計	53,771	
(2) 災害関係		
摘要	金額(千円)	主なもの
①災害対策費等	325,500	農地、農業施設、林業、土木災害等
小計	325,500	
(3) 新型コロナウイルス感染症対策		
摘要	金額(千円)	主なもの
①新型コロナウイルス感染症対策費	53,737	オンライン診療体制整備補助金等
②事業中止等	△14,562	大都市プロモーション事業補助金等
小計	39,175	

歳入 418,446千円		
摘要	金額(千円)	主なもの
①国・県支出金及び分担金	303,338	災害復旧費、新型コロナウイルス感染症対策費
②寄附金	△11,240	企業版ふるさと納税
③繰入金、諸収入、市債等	126,348	ふるさと応援基金繰入金、災害復旧費
小計	418,446	

主な質疑

■総務部

Q 職員のテレワークシステムの詳細な内容は。

A 職員が自宅または出先において、市のLIGWANネットに接続し、職場のパソコンをリモート操作してテレワークを行う仕組み。

■市民部

Q マイナンバーカードについて、地域へ出向いて受け付ける考えは。

A イベントなどに出向くことはできていないが、サロンで説明や補助を行うことを考えている。

■福祉保健部

Q オンライン診療の効果と見込みは。

A 認知されていないのが現状。本市における医療体制に資するよう体制整備を進めたい。

総務企画常任委員会

9月14日に委員会を開き、議案1件、陳情・要望1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○過疎地域自立促進計画の変更に
ついて

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出
について

委員長 穴戸邦夫
副委員長 新田和明
委員 石飛慶久
塚本 近
山本 優

過疎地域自立促進計画の変更に
ついて

■概要

新たに過疎債を財源として実施しようとする事業について、高宮堆肥センターの機械器具備品購入を本市の過疎地域自立促進計画に追加記載するもの。

■質疑

新田 購入予定のホイールローダーの価格と、中古購入の考えはないのか。
三戸地域営農課長 購入予定として935万円を計上。耐用年数経過後も活用することを考え、新車の購入を計画している。

陳情・要望

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

〔要望者〕 全国市議会議長会 会長 野尻 哲雄

〔審査結果〕 上記の陳情・要望は委員会で採択とし、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとした。

産業建設

産業建設常任委員会

9月16日に委員会を開き、報告7件を受けました。

(報告事項)

○農林土木施設災害における平成30年7月豪雨災害及び令和元年7月豪雨災害の復旧状況
○竹チップパー機の有効活用について
○有害鳥獣対策の取り組み状況について
○第3セクター(株)神楽門前湯治村経営診断後の取り組みについて
ほか4件

委員長 熊高昌三
副委員長 芦田宏治
委員 山根温子
前重昌敬
大下正幸

神楽門前湯治村経営診断後の取り組みについて

■概要

神楽門前湯治村の経営診断を市商工会に委託し、平成31年3月に経営診断・改善計画策定支援業務報告書を取りまとめ、経営健全化に着手してきた取り組みの経緯について報告を受ける。

■質疑

大下 健全経営が必要と言われるが、湯治村のリニューアルはコロナで客の少ないこの時期にするべきではないか。
松野商工観光課長 湯治村のこれからの方向性を定めたいのでなければリニューアルの内容を決めることが難しい。今後の運営を含めて内部で協議し、現場と意見交換をしたうえで進めたい。



神楽門前湯治村

松野商工観光課長 メインになるのは指定管理料であり、収益部門、準収益部門、公益部門と分ける中で、公益部門に対しての資産を基本として積算するものとしている。様々な改善により販売管理費が下がるようになれば指定管理料に反映していくことを考えている。

文教厚生常任委員会

9月15日に委員会を開き、議案1件、陳情2件、請願1件を慎重に審査し、報告を3件受けました。

(主な審査)

○安芸高田市奨学金貸付条例の一部を改正する条例

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

ほか陳情1件、請願1件

- 委員長 秋田雅朝
- 副委員長 玉井直子
- 委員 武岡隆文
- 委員 児玉史則

金行哲昭

奨学金貸付条例の一部を改正する条例

概要

学習意欲が足りないから、経済的理由により修学が困難な者に対し貸付を行って安芸高田市奨学金の資格要件について所要の改正を行い、修学の機会が確保できるよう修学支援の拡充を図るもの。

質疑

児玉 市内の外国籍の方も利用されると思うが、その方たちにも今回の内容は周知されているのか。

柳川教育総務課長

外国籍の方にも配慮した形で人権多文化共生推進課と協議を行いながら周知していきたいと考えている。

玉井 奨学金の貸付要件は。

柳川教育総務課長

市内に住所があること、学校に在学していること、所得要件が合うこと、学習状況が良好であること、奨学金を受けていないことの5点である。

報告事項

○令和元年度小中学校における生徒指導上の諸問題の状況について

○安芸高田市健康とどけ隊事業の実施について

○若年性生活習慣病予防事業の実施報告について

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

〔要望者〕 広島県教職員組合山県・安芸高田支区

〔審査結果〕 上記の陳情は委員会で採択とし、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとした。

公立・公的医療機関等の「再検証」要請の白紙撤回、および地域医療構想の見直しに関する陳情書

〔陳情者〕 公立・公的医療機関再編ストップ！広島県共同行動連絡会

〔審査結果〕 上記の陳情は委員会で不採択とした。

請願

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

〔審査結果〕 上記の請願は委員会で引き続き継続審査とした。

全面開業1か月間の来場者・売上高ともに 計画値を上回るスタート

道の駅整備調査 特別委員会

委員長 芦田宏治
副委員長 新田和明
委員 議長を除く全議員

経過報告

平成29年第1回定例会（平成29年3月17日）において付託された、安芸高田市に新たに建設される道の駅の整備に関する調査を終了しましたので、結果を報告します。

調査は、平成25年6月24日より産業建設常任委員会の所管事務調査として「道の駅について」延べ12回の調査を行い、その後、本特別委員会を設置し、産業建設常任委員会で調査されてきた事項を踏

まえ、調査を行いました。

まず、執行部が議会へ段階に応じた詳細な報告をしていくことを前提に「道の駅基本計画」を認めることとし、その後、道の駅整備スケジュールを参考に委員会スケジュールを作成し、それを基に設計業者の選定に関する

こと、道の駅の各テナントの状況、工事の入札結果や整備状況等の資料の提出及び報告を求め、道の駅建設の状況調査を行いました。また、令和元年12月の第22回委員会では、道の駅建設現場において整備の進捗状況を確認するため現地視察を行いました。

その後建設が順調に進み、令和2年4月24日にオープン予定としていましたが、新型コロナウイルス

感染症拡大の影響を受け、当初は産直棟のみの営業となりました。国の緊急事態宣言の解除を受け、令和2年6月1日に全面開業となりました。その後の1

か月間の来場者数及び売上高について報告を求め、来場者数及び売上高ともに計画値を上回る結果であったことから道の駅の整備に関する所期の目的は達成できたものと考えます。

なお、開業後に挙げられた駐車場等に関する課題（駐車台数や国道54号線への出口等）への対策については、一部は対応済みですが、今後早期に対応できるように執行部へ要望することとしました。

その後建設が順調に進み、令和2年4月24日にオープン予定としていましたが、新型コロナウイルス

駐車台数や国道54号線の出口等の課題について

執行部に早期の対応を要望



道の駅三矢の里あきたかた

12月以降4常任委員会から3常任委員会へ 議員報酬・政務活動費は現状維持

常任委員会構成 等調査研究特別 委員会

委員長 穴戸邦夫
副委員長 芦田宏治
委員 武岡隆文
新田和明
玉井直子
大下正幸
熊高昌三
秋田雅朝

経過報告

令和元年第3回定例会（令和元年9月25日）において付託された、「来季一般選挙（定数16）の各常任委員会の構成について」「議員報酬のあり方について」「政務活動費のあり方について」の調査を終了しましたので、結果を報告します。

本市の常任委員会は現在、総務企画常

任委員会、文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会、予算決算常任委員会の4つですが、令和2年11月の一般選挙から議員定数が16名になることに伴い、予算決算常任委員会は現状のままとし、現在の総務企画常任委員会の所管に教育委員会を加えた総務文教常任委員会と、現在の産業建設常任委員会の所管に市民部、福祉保健部及び福祉事務所を加えた産業厚生常任委員会の3つの常任委員会とすることに決定しました。

また、議員報酬及び政務活動費については、現状維持としました。

委員会構成

令和2年11月まで

委員会	定数（人）	所 管
総務企画常任委員会	6	総務部、企画振興部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部
文教厚生常任委員会	6	市民部、福祉保健部、福祉事務所、教育委員会
産業建設常任委員会	6	産業振興部、建設部、公営企業部、農業委員会事務局
予算決算常任委員会	17 ※決算は監査委員を除く16	予算及び決算に関する事項

令和2年12月以降

委員会	定数（人）	所 管
総務文教常任委員会	8	総務部、企画振興部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部、教育委員会
産業厚生常任委員会	8	市民部、福祉保健部、福祉事務所、産業振興部、建設部、公営企業部、農業委員会事務局
予算決算常任委員会	15 ※決算は監査委員を除く14	予算及び決算に関する事項

議員報酬：市の財政や人口減少の状況、現在の社会情勢を考慮し現状維持
政務活動費：議員活動にあたり必要なものであり、報酬とは別に考慮し現状維持

田んぼアート事業調査特別委員会 中間報告

田んぼアート事業調査特別委員会

委員長 熊高昌三
副委員長 前重昌敬
委員 議長を除く全議員

経過報告

平成30年第4回定例会（平成30年12月21日）において付託された、安芸高田市に新たに開業予定の田んぼアート事業の整備に関する調査について現在の状況を確認して報告します。

本特別委員会は、現在までに14回の委員会を開催し、その都度執行部から資料の提出及び報告を求め議論を行ってきました。（主な内容は下記のとおり）
当初は、令和3年

度のオープンに向け、令和2年度は試験作付けの面積を約7000㎡に拡大して実施することや、建築工事、テナント関係等の整備スケジュールを計画していましたが、新型コロナウイルスの全国的な拡大を受け、観光振興よりも新型コロナウイルス対策を優先させる必要があることや、地元住民への説明会を開催できる見途が立たないことを踏まえ、令和2年度は1年をかけて基本設計を行うこととし、令和4年度オープンにスケジュールを見直しました。

慎重に議論していく必要があります。田んぼアート事業は、安芸高田市の観光産業を点から線、線から面にしていくため観光振興の目玉としての位置づけで計画され、試験作付けによる実証実験や土地買収埋立等の事業実施をし、また、民間団体「元就新城下」も関係して進めてきた経緯もあります。しかし、先行きが不透明な中において、市長の判断の下に様々な提案や積極的な取り組みを示されると思われず、委員会としては、これまでの調査や実施してきた内容を踏まえ、市民の声を聞き、合わせてしっかり説明を行いながら検討していくべきと考えます。

田んぼアート事業の経過	
平成30年12月	田んぼアートに係る補正予算の執行を留保。
平成31年2月	田んぼアートに係る補正予算の執行留保を解除。
令和元年9月	企業版ふるさと納税の寄附額が大幅に上回るため、事業の前倒し提案を受ける。
令和元年11月	事業の前倒しの執行を認める。
令和2年度	1年間かけて基本設計・詳細設計を行う。
令和4年度	オープン予定



令和元年試験作付



平成30年試験作付

12人が 一問一答 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

インターネット議会中継
一般質問・本会議をみてください!

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<https://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

市長 「政治再建」
り組んでいくのか。どのよう
に、具体的に産業創出を実現する
ために、政治再建、都市開発、
の三つの柱となるため
の三つの柱となるため
の三つの柱となるため



芦田 宏治
(無所属)

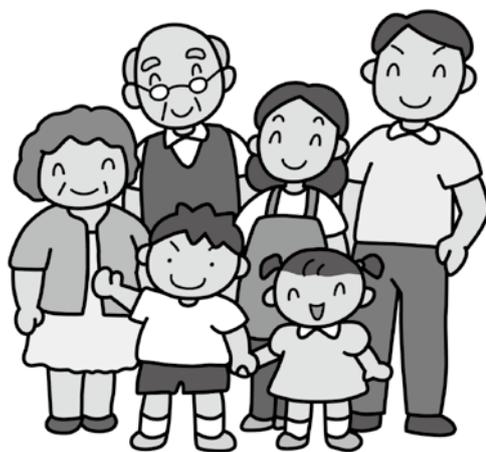
町世界
づくりの

**世界で一番住みたいと思
える町づくりについて**

**市長/これまでできなかった
政策を断行する**

は市民の政治参加が
何よりも必要である。
正しい政策を進めて
いくためには、市民
の監視が必要。その
ために市民の政治へ
の関心を常に引き付
けていきたい。
「都市開発」につい
ては、様々な事業に
おける採算性の検証
が必要である。公共
サービスなので、採
算が悪いのは当然で
あるが、放漫経営を
続けてはいけない。

「産業の創出」に関
しては、とにかく能
力、スキルのある人
が少ない。言い換え
ると若者が少ないこ
とに尽きる。人材の
確保が産業創出には
必須となってくる。
これまで、できなか
った政策を断行し、
あらゆるところで市
政を改めていく。そ
ういう挑戦になる。



世界で一番住みたい町 安芸高田市をめざして

新田 地域エコステーション設置の考えは。
市長 民間や環境団体とも協力しながら、エコステーションの設置を検討していきたい。
新田 トンネルコン



新田 和明
 (無所属)

ごみの資源化
協働による取り組みと今後の展開は
市長/市民や事業者の意識向上が課題、啓発活動に力をいれる



トンネルコンポスト (株)エコマスターから提供
 ※燃えるごみを焼却しないで、微生物の力で発酵させ、最終的に固形燃料の原料として活用すること。

ポストによる処理の考えは。
市長 今後、芸北広域環境施設組合で調査を実施される予定。十分に検討していきたい。
ペットの死骸処理について
新田 事故死など一時預かりとして、ペットの霊安所設置は。
市長 霊安所設置の選択肢はあると思う

が、飼い主が責任をもって飼っていただくのが第一と考える。
安芸高田市コワーキングオフィスについて
新田 副業人材を活用した取り組みは。
市長 地元企業とのマッチングを通して、新たなビジネスを創出する環境を整えていきたい。

武岡 多治比川のバックウォーター(逆流)現象による氾濫浸水被害が懸念されるがその対策は。
市長 抜本的な河川改修を広島県に要望していく。
武岡 河川堤防の点検を河川管理者のみに委ねるのではなく、自主防災組織等が普段から点検する仕組みづくりの検討は。
市長 地域を巻き込んで、そうした仕組み



武岡 隆文
 (無所属)

治水対策

多治比川の抜本的な治水対策は
市長/計画的土砂撤去や河川改修を広島県にしっかりと要望する

みづくりを検討する。
武岡 氾濫基準水位の見直しについては、**総務部長** 平成29年に基準を10cm高くする案を作成したが、地元の意見を聞き、変更を据え置いた。



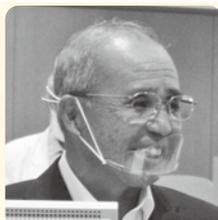
氾濫寸前の多治比川

県道原田・吉田線について
武岡 県道原田、吉田線の進捗状況と今後の事業推進は。
市長 平成30年災害が優先され、改良率は上がっていない。早期に供用開始できるように広島県に要望する。
(その他の質問)
 ○投票率の向上対策について
 ○農道の管理主体について

条例制定

自治基本条例の制定は

市長／制定する必要性について検討



穴戸 邦夫
(無所属)

市長 過疎法の要件を満たさなくなった時、国の過疎対策の恩恵を受けることができない。引き続き要請をしていく。

市長と職員の間 思疎通について

穴戸 市長のまちづくりの基本的な考え方について、十分な説明と、職員の理解を得る取り組みが今必要ではないか。
市長 全職員の英知を結集して安芸高田市をもっと元気にしていくために取り組んでいきたい。

過疎法について

穴戸 新たな過疎法制定に向けた動きがある中で、市として情勢変化にどのように対応していくのか。

穴戸 自治の基本的な考えや市民・議会・市長等の役割と責務、自治体運営の原則などを体系的に定めた自治基本条例の制定は。
市長 条例を制定する必要性について検討を進めたい。



郡山城址「百万一心碑」
一日一日を一人一人が力を合わせて心をつくに

市長選挙

市長選挙の出馬のきっかけは

市長／地元で貢献したい



金行 哲昭
(無所属)

金行 市長選挙に出馬されたきっかけは。
市長 無投票ではないけないと感じ、地元に戻って貢献したいと思立候補した。
金行 所信表明の中で何を一番やりたいか。

市長 いろいろな課題の山をまず片づきたい。最終的な狙いは、やはり未来への投資である。
金行 財政健全化でスマートな行政とは。
市長 身軽で機動力のある行政で社会基盤、インフラ、そして公共施設については、何よりも情勢の変化を踏まえて改めて適正化を検討し、スマートな行政の上

で、将来に何を残すか。未来への投資、その判断である。
金行 農業の経営基盤の確立と担い手は。
市長 北部農業協同組合や県の農林水産局と連携し、取り組んでいく。

所信表明

令和2年9月

安芸高田市市長 石丸 伸二

市長所信表明（表紙）

玉井 市長の感じられる子育て支援策の課題と今後の方向性は。

市長 過疎化が進んでいる本市においては、子育て支援は引き続き注力が必要だと捉えている。二一



玉井 直子
(無所属)

子育て支援 課題と今後の方向性は

市長／子育て支援は注力が必要



子育て支援センタープレイルーム

ズは常に変化していくので、不断の取り組みを続ける。出生から成人まで切れ目なく家計への負担を軽減する措置を厳しい財政環境の中で捻出できないか検討する。

玉井 支援の取り組みをさらに広報などで周知を図り、しっかり発信して定住促進につなげては。

市長 分かる化の中にも入る要素。広報

そして政治活動も含めて広めていきたい。

玉井 本市には産婦人科がないが、助産師さんの養成の考えは。

市長 公共サービスとして医療・出産をバックアップする体制が必要と捉えている。

(その他の質問)
○空き家・耕作放棄地について

秋田 所信表明で「確かな学力」を身につけさせることと「総合的な生きる力」を高められるよう「教育の質」の追求を掲げておられるが、既に取り組んでいる戦略との整合性を含めた取り組みと見解は。

市長 子供たちがこれから生きていく社会は、変化の激しい時代となり、経験したことのない課題に対応していく力が必



秋田 雅朝
(無所属)

教育の推進

「安芸高田市学力向上戦略」との整合性と取り組みは

市長／整合性があると認識、授業のソフト面の変革を進める

要。「戦略」は同様の方向性を持ち、整合性があると認識している。取り組みとして、教師主導から子供たちが主体的に学んでいく授業に変革を進めていく。

(その他の質問)
○社会インフラ整備
○農業振興施策

市長 令和2年度末を目標に、各医師会等と連携し整備を進めたいと考えている。

秋田 遠隔医療について、目標時期、取り組みについての見解は。

医療体制について

未来に生きる力をはぐくむ
安芸高田市学力向上戦略

ふるさと安芸高田に自誇と誇りを！

想像・創造
クリエイティブな
発想力、想像力を
子供

協働
思いやり、入力の
学びの力
子供

自分を知る
自信を持って
活躍する子供

令和2年3月
安芸高田市教育委員会

(1) 安芸高田市授業づくりスローガン
安芸高田市の教職員は、「安芸高田市授業づくりのゴール」を掲げ、授業づくりに取り組めます。学校では、このスローガンのもと、より具体的な目標を設定し、実践していくこととなります。

あ 愛情のある授業をつくります
教育活動すべての土台は、子供に対する深い愛情

き 基礎・基本を習得し、活用する授業をつくります
活用までを意識した授業づくり

た 対話し、学び合える集団を育てる授業をつくります
子供同士の対話、子供と教師の対話、課題との対話で深まる学び合い

か 考えが深まる授業をつくります
疑問や発見は宝物 思考を深める問いづくり

た 互いに見合い、学び合って、授業をつくります
オール安芸高田研究開発スタイルでチャレンジ！！

「安芸高田市学力向上戦略」授業づくりスローガン

人材育成



山根 温子 (無所属)

ダイバーシティ(多様性) 女性の活用への取り組みは

市長／活躍できる環境を整えていきたい

市長 生きる力への大人の正しい認識と、市民一丸となつて子どもたちの未来を考へる姿こそ、教育の推進には大事だと思つている。

山根 地域振興の役割と位置づけは。
市長 地域のことを自ら率先して考え、行動する活動は今後も必要。少子高齢化の中で住民のニーズ、地域の課題を再認識し、それに対する行政の関わり方も検討していく。

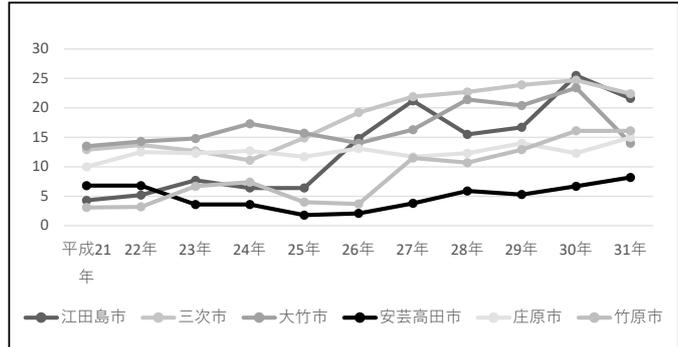
まちづくり

山根 10年以上経つても10%を超えられない市の男女共同参画の現状と人材育成基本方針については。
市長 格差是正の取り組みや方針の見直しを検討。市政改革には職員のさらなる成長が必要不可欠。制度設計を工夫していきたい。

教育の推進

山根 教育の質を追求し、総合的な生きる力を高めるとは。

県内近隣市および人口類似市の管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合の経年的変化(%)



(広島県の男女共同参画に関する年次報告より作成)

実施計画の推進は停滞しないか

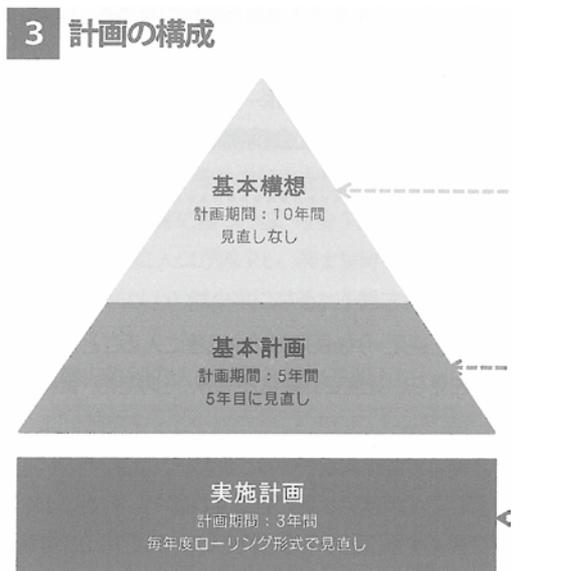
市長／計画を改め、計画を最適化し、強く早く推進していく

総合計画について



石飛 慶久 (無所属)

石飛 第2次安芸高田市総合計画後期の構想・計画は見直すのか。実施計画の推進は停滞しないか。
市長 計画の停滞でなく、改めて計画を最適化し、強く早く推進していく。



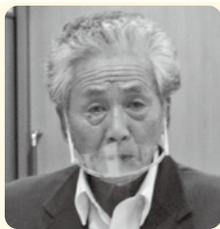
計画の構成『第2次安芸高田市総合計画』P2より抜粋

吉田地区について

石飛 「5丁目地区の市道拡幅・排水溝の蓋掛け」の今後の地元説明は。
市長 計画区間内の優先的に整備する箇所を、関係者と協議を年度内に進める。
石飛 新町1号線と国道54号線交差点に、新たに歩道や右折

レーンを設置する交差点改良の実施計画の時期は。
市長 調査設計を令和2年度。3年度は国交省や県と協議し地元調整。4年度に工事着手の予定。
石飛 豪雨時の川向地区の内水排除の課題解決は。
市長 国・県と連携して、当座の対応と抜本的な対応をする。

塚本 合併後、各町の特徴を生かした町づくりを行ってきたが、今後の将来像は、**市長** 特色は、地理的、文化的、歴史的など各地域にある。今非常に厳しい言葉で表現すると「衰退」



塚本 近 (無所属)

将来像 特色を生かした町づくり

市長／本市は『衰退』



見直しが検討される田んぼアート事業

の2文字となる。これからの町づくりは、この厳しい現実を直視し、この町をよくしていく。今後は、これまで長きにわたっていた問題、課題に取り組み、不安ではなく希望に満ちた社会の構築に努めていく。

塚本 政策の継続と見直し等の周知と説

明は。人口減少、少子高齢化、加えて新型コロナウイルス対策等、財政上厳しい中、政策の見直しが必要。身軽で機能的な政策、体制を目指す。市民に対する説明は、課題認識、危機感等意識の共有を持ち、十分説明していく。

児玉 第三セクターの赤字が続き、債務超過に陥る状況も見受けられることから、厳しい経営判断が必要では。
市長 官の要素を排除していくことが解決策で、総合的、多面的に評価していきたい。



児玉 史則 (無所属)

財政健全化

第三セクター 存続の判断は

市長／覚悟を持って行動していく事案

住みやすい町とは

児玉 都市部への移

市長 4年の任期の間に、負託を受けた立場として責任を果たしたい。

単位 (千円)

施設名	見直し前 指定管理料 ①	見直し後 指定管理料 ②	差引 (②-①)
神楽門前湯治村	35,999	46,563	10,564
道の駅「北の関宿 安芸高田」	10,188	10,681	493
たかみや湯の森	16,934	19,448	2,514
エコミュージアム川根	9,048	10,329	1,281
計	72,169	87,021	14,852

指定管理料の見直し結果 (平成31年2月 産業建設常任委員会資料より)

動が便利などが必要。中国縦貫道、国道54号線、芸備線の活用が必要では。
市長 広島市に隣接している向原、八千代は非常に便利などころだが、国道と高速と駅の横のつながりが課題。可能性を秘めているので、何ができるか検討していく。

山林資源の活用

山林整備で
獣害対策を

市長／実効性の一点で検証する



熊高 昌三 (無所属)

熊高 山林の整備が獣害対策と農業を守ることにつながり、木質バイオマス発電事業が資源循環型社会とCO2削減につながると思うが、どのようにお考えか。
市長 循環型社会、持続可能な社会は重要なテーマと認識している。その上で、エコロジーはエコノミーのためという視点が大事だと思う。獣害対策と循環型社会、そして経済が両

立され、最終的に実効性があるのか、その一点で検証を進めていきたい。
熊高 政治改革の次のステップは。

政治改革

熊高 地域性と効率化をどう考えるか。市長 コアが吉田ではない都市計画が必要。それぞれの町の強みを生かし、最適化していく。

地域バランスは

市長 11月の市議会選挙である。市民として今まで以上に意識を高く選挙に臨み、明確な判断が求められると考えている。

木質バイオマス発電事業の経済的波及効果：年間1億円以上の効果が期待できる*

発電所が出来る事により発電事業以外の分野の経済活動を活性化させることにつながる



令和2年9月16日産業建設常任委員会協議会資料の一部

議会基本条例

はじめての議会基本条例の検証 ~充実が必要~

15名の議員が、5点満点で採点

平均点は 3.3 点

議会・議員の責務を自覚し、市民の負託に応える議会を目指すことを決意し、平成30年3月に議会基本条例を制定しました。今後の議会・議員活動の活性化に向けて、これまでの取り組みの振り返りとして、各条文の採点を行いました。

【成果】

項目	主な意見・感想等
会議の公開	・ 現行のままの公開により、市民に開かれた議会運営を望む。
政務活動費の公開	・ 細かい取り決めとチェックにより、評価できる状況にある。

【課題】

項目	主な意見・感想等
議員間の自由闊達な討議及び合意形成	・ 一番の課題であり、今後改善が必要。 ・ 議論を尽くしているか疑問の場合がある。
議会または委員会による政策提案	・ 一般質問での提案以外の提言はなかったと感じる。 ・ 議案の提出が少なかった。
市民や市民団体等との意見交換機会の充実	・ 地域懇談会での専門的な見識を討議に反映する機会が少ない。 ・ 市民との対話は行うべき。今後も大きな課題。
議員の研修の充実	・ 専門的研修により、意識改革を高める必要がある。

今後に向けて（次期議会への申し送り）

- ・ 平素から議会基本条例を意識し、活動する気運の醸成に取り組まなければならない。
- ・ 2年に1回は条例を検証し、議会・議員活動を振り返らなければならない。

議会のうごき 7月～9月の議会の主な活動状況

7月

- 3日 第2回臨時会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 20日 第3回臨時会
全員協議会
予算決算常任委員会
道の駅整備調査特別委員会
常任委員会構成等調査研究特別委員会
- 30日 議会広報特別委員会

8月

- 11日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
道の駅整備調査特別委員会
常任委員会構成等調査研究特別委員会

9月

- 3日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 第3回定例会（開会）
議会広報特別委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 14日 本会議（補正予算）
総務企画常任委員会
- 15日 文教厚生常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 予算決算常任委員会
- 18日 予算決算常任委員会
- 23日 全員協議会
田んぼアート事業調査特別委員会
議会運営委員会
- 24日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）
- 30日 第3回定例会（閉会）

■令和2年第4回定例会は

12月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

吉田町
久保 博靖さん

いろいろな面で注目されている安芸高田市。75歳にして初めて市議会なるものを傍聴しました。新市長の石丸さんが基本方針と個別方針を述べられました。わかりやすく明確な所信表明でした。

市政の大きな課題の一つは、若者の定住と活用だと思います。

東京からUターンされて自ら範を示された新市長、期待しております。

田畑ばかりに出ている私ですが、初傍聴を機として議会に目を向けるきっかけにしたいです。

地域のかがやき

吉田 無我夢中



吉田小学校運動会 (9月27日)

八千代 コロナ禍でも一生懸命



八千代中学校体育祭 (9月5日)

美土里 全員が「煌」いた体育祭



美土里中学校体育祭 (9月5日)

高宮 3密避けてホッとひと息。家族みんなでレジャーフィッシング〜!!



フィッシングレイクたかみや (香六ダム公園)

甲田 たのちい!うれちい! あそび場「だっこ」



こどものあそび場「だっこ」 (9月1日)

向原 仲間と共に勝利をつかみとれ!!



向原中学校体育祭 (9月5日)

編集後記

令和元年に端を発した大規模買収事件に揺れた本市ですが、若き新市長の下、「この先も世界で一番住みたい」と思えるまちに向けて歩み始めました。

石丸市長の公約の1番目は政治再建、その政治に興味をもっていたためだけの発信は、まさしくデジタル世代。

政治参加の一つとしての投票、前回の市議選投票率は、68・7%。今回はどういう値を示すのでしょうか。

この第67号がお手元に届く頃には、新たに選ばれた16人の議員が、議会という合議体の中で市民の負託にこたえてまいります。

議会だよりが、政治の「見える化」に向け、今後も一翼を担うことを期待します。

読者の皆様、ありがとうございます。

(山根 温子)

発行責任者

議長 山本 優

議会広報特別委員会

委員長 山根 温子
副委員長 玉井 直子
委員 武岡 隆文
新田 和明
芦田 宏治